

2 学力向上を図る取組

(1) 各教科の授業における取組

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①自身の考えを文章にして書いたり、文章を読んで内容を理解したりする力。 ②課題解決に向けた方策を見つける力。 ③情報やデジタル技術を理解して、適切に活用する力。	④計画・実行・振り返りにおいて課題を発見し、解決したり新たな価値を創造したりする力。 ⑤多様な考えを伝えたり、理解したりしながら協働し、対立やジレンマに対処する力。	⑥困難な課題に対して、先生に聞いたり、調べたりして粘り強く取り組み、目標を達成する力。 ⑦互いの良さを生かして協働する力。 ⑧学習の進め方について試行錯誤し、調整する力。



教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	④	④教科書で学習した後に、教科書以外の教材を用いて、文章にまとめる課題を設定する。単元の開始時と終了時に感想を書き、その変容を見取るとともに、それを交流させて意見の深化を図る。	
社会	⑤	⑤少人数グループでの学習や話し合い活動、協働学習を展開し、班の意見の要約や自身の考えを表現する機会を充実させる。	
数学	②	②問題演習時に既習事項の確認をする。見通しのある授業を実施する。	
理科	⑤	⑤実験の予想やまとめの場面で、ICTやホワイトボード等を活用し、自分の考えを表現する力や思考する力を育成する。	
外国語	①④	①学んだ表現やそれらを網羅した初見の英文を読ませる。授業で聞いたり読んだり話したりしたことを書く活動につなげる。 ④単元計画・評価基準・Can-doリストを生徒に提示する。	
音楽	⑦	⑦パート練習やペア学習など、学習形態の工夫をする。	
美術	②	②題材において、自分の考えを基に発想や構想力を身に付けながら、自分の思いを伝え表現する機会を充実させる。	
技術	③⑤	③自分で設定した課題解決のために、ICT端末を利用して調べ、それを発表する。 ⑤作業を協働し、共有化を図る。	
家庭	②	②自分の生活を振り返って課題を設定し、自分の生活をより良くするための改善策について、協働学習を通して考える。	
保健体育	④⑦	④スキルアップトレーニングを自分たちの力に合わせて考えさせる。 ⑦ペアやグループでコーチングを行う取組を充実させる。	
特別の教科 道徳	⑤	⑤多角的、多面的に考えさせる場面を設け、多様な考えに触れる機会を充実させる。	

A・・・取組の効果が十分に見られた B・・・今後も課題として取り組む C・・・取組を見直す

(2) 教育活動全体を通じた取組

本校の特色ある取組

○あいさつ運動	・ 学期当初の3日間、PTAと合同であいさつ運動を実施する。
○K-タイム（朝学習・朝読書）の充実	・ 落ち着いた学校生活のスタートを迎える。 ・ テスト前部活動休止期間は朝学習を可とする。
○面談（二者面談・三者面談）を通して、積極的な生徒理解	・ 学期に1回の二者面談を実施する。 ・ 夏休み、11月に全校三者面談を実施する。
○ICTを活用した授業、家庭学習の支援	・ 大型モニター、ICT端末、板書のバランスのとれた学習指導を実施する。 ・ ICT端末の貸出、オンライン授業を実施する。
○レインボールームの有効活用	・ なかなか教室に足が向かない生徒を支援するための教室を1、2、5、6校時に開室して教員を配置し、学習指導の補充やオンライン学習などを行っている。
○生徒会活動・専門委員会の充実（生徒集会・上中祭）	・ 月1回の生徒集会の実施。上中祭の企画、運営。PTAとの意見交換を実施する。

家庭教育との連携

○家庭との連携（日々の情報共有、家庭訪問、面談等）	・ 生徒の欠席時における、電話連絡、またはさくら連絡網を活用した情報共有を図る。必要に応じた家庭訪問を実施する。
○オンライン教材を活用した家庭学習の充実	・ まなびポケット（スクールタクト）を活用する。 ・ G o o g l e クラスルームを活用する。 ・ eライブラリーを活用する。
○PTA活動の充実（美化活動、奉仕活動等）	・ あいさつ運動、登校指導を実施する。 ・ 10月18日（土）上中祭を実施する。 ・ 全体奉仕作業、安全点検を実施する。